

## 第1～4回（仮称）根津景観形成重点地区景観づくり検討会の 結果について

### 1 開催概要

#### （1）目的

景観形成重点地区のモデル地区として選定した根津地区の一部において、地区住民との協働による景観づくりの検討を進めるため開催しました。

#### （2）開催状況

日程	検討テーマ	参加人数	会場
第1回 5月18日（金） 19:00～21:00	＜根津のまち並みの魅力について考えよう＞ ・根津のまち並みの魅力について意見交換を行いました。	17人	不忍通り ふれあい館 4階会議室
第2回 6月30日（土） 9:30～12:00	＜根津の魅力を確認・共有しながら、景観をより良くするためのアイデアを議論しよう＞ ・まち歩きを実施し、景観をより良くするためのアイデア出しを行いました。	4人	不忍通り ふれあい館 4階会議室
第3回 7月21日（土） 14:00～16:00	＜根津らしいまち並みを守り、引き継ぎ、創っていくためのアイデア＞ ・シミュレーションを行い、根津らしいまち並みや、どうすれば景観が良くなるのかなどについて、アイデア出しを行いました。	10人	不忍通り ふれあい館 地下1階 ホール
第4回 8月18日（土） 14:00～16:00	＜根津らしいまち並みを守り、引き継ぎ、創っていくためのアイデア パート2＞ ・地区内の建物の写真を比較して、どのような建物であれば根津らしいまち並みに調和するか、根津の景観を良くする方法などについて議論しました。	4人	不忍通り ふれあい館 地下1階 ホール

○根津一丁目1番、二丁目1～18番、21～26番、30～35番に居住又は営業されている方、同住所に土地又は建物を所有されている方、根津宮永商盛會、根津銀座通り商睦會に加盟（文京区内）されている店舗を営業されている方を対象にしました。

○周知については、各回の2週間程度前に、開催案内及び前回の検討会での主な意見を記載した「景観づくりニュース」を、対象地区の全戸に配付しました。

## 2 各回の概要

### (1) 第1回景観づくり検討会の概要

1) 検討テーマ 「根津のまち並みの魅力について考えよう」

2) 内容

○資料説明

- ・住民説明会の概要と主な意見について
- ・検討会の進め方について
- ・根津の魅力について

○グループ討議

- ・出席者の自己紹介
- ・根津のまち並みの魅力について

### 3) グループ討議における主なご意見

2つのグループに分け、テーマである「根津のまち並みの魅力」について討議を行いました。

・グループA

概要	番号	主なご意見
雰囲気ある路地・緑	1	道幅や建物が適切な規模や大きさであり、人間の感覚に合っている。
	2	かくれんぼや鬼ごっこができる。
	3	車の通行が少ない路地が多く、落ち着きがある。
	4	道路基盤が整備されたまちには無い魅力がある。
	5	根津らしさ（雰囲気ある路地）と和風は違う。
人の交流・人情・生活感	6	木造家屋が連続しており、落ち着いた雰囲気が人々の交流を生む。
	7	何気ない軒先の緑や鉢植えの花木が、対話のきっかけとなる。
	8	お祭り等の行事や催し物が多く行われ、新旧住民の交流が図られる。
	9	昔からあるお店に人が集まり、人情が感じられる。
	10	防犯や子どもの見守りなど、人の目が行き届いている。
	11	昔はまち全体が職場（生産の場）であり、その中から人情が感じられた。
建物	12	建物の色合いが落ち着いている。

今後の取組について	13	検討会の目的と目標をしっかり持ちながら、議論を深めたい。
	14	防災・耐震とまち並みの風情の両立を考えていきたい。
	15	根津らしさと和風は違うと思う。そのことについて、皆さんと共有していきたい。

・グループB

概要	番号	主なご意見
雰囲気ある路地・緑	1	路地が多く残っており、江戸時代から変わらない一画もある。小さな路地には、井戸が残っている。
	2	植木があり、緑が多く、しっとりとした風情を醸し出している。
	3	花が多く、目だけでなく花の匂いからも季節が感じられる。
	4	昔ながらの雰囲気がある。
人の交流・人情・生活感	5	ご近所同士の交流がある。住民の人情が感じられる。お祭りや地域行事の積み重ねがある。
	6	昔は職人のまちであり、個人商店も多かった。
	7	小さな子どもが多く遊んでいる。
	8	夕飯を支度する音など、人々の生活感が感じられる。
建物	9	質屋さんや丁子屋さんなど、雰囲気のある建物が残っている。木造住宅が密集している。
今後の取組について	10	根津は借家が多く、まちづくりを行うには難しい面がある。
	11	地区内のどこかの場所を取り上げて、見える形で取組を進めてみる。例えば、ひとつの路地を取り上げて、まち並みづくりを実践してみる。見せて行って、そういったものをやりたいと思う人を増やすような雰囲気づくりが大切である。
	12	古いものを残すだけでなく、新しいものに対する共通の方向性を見出したい。

(2) 第2回 景観づくり検討会の概要

1) 検討テーマ 「根津の魅力を確認・共有しながら、景観をより良くするためのアイデアを議論しよう」

2) 内容

○資料説明

- ・前回のおさらい及びアンケート結果の報告
- ・本日の検討テーマ

○まち歩き

○グループ討議

- ・根津のまち並みの魅力や課題について確認
- ・景観をより良くするためのアイデア出し

3) グループ討議における主なご意見

参加者でまち歩きを行い、具体的な場所や建物などをイメージしながら、まち並みの魅力向上や課題解決のためのアイデア出しを行いました。

①景観をより良くするためのアイデア

概要	番号	主なご意見
路地の風情を残す	1	幹線となる道路は災害対策を行って地域の安全性を高めながら、細い路地はそのままの風情を残す。
緑を生かして魅力を高める	2	まち歩きをして緑が多いことを再認識した。住民が軒先で育てている緑によって、路地の風情が生まれている。これを生かして緑をつなげ、路地の魅力をアップさせる。 * 建物の形態や意匠を厳密に揃えなくても、軒先に緑を配置することによって周辺との調和を図れるのではないかと。
連続性のあるまち並みを創出する	3	室外機を格子で目隠しをする、暖簾等の小物を使うなどのちょっとした工夫をすることで、まち並みの連続性が創出できる。
	4	耐震改修等に併せて少しずつ景観に配慮していくことで、次第に連続性のあるまち並みができる。
	5	各時代の様々な建物が混在して、残っていることが根津の特徴。無理に「和風」にこだわらなくてよいのではないかと。洋風の建物でも違和感のないものもある。 * 「根津らしい」=「和風」ではない。
	6	古くからある建物が残り、風情を醸し出しているが、他の建物に埋もれてしまっているため、これらを修復しながら残していく。
建物を建替える時は周囲と調和させる	7	緑が連続するように植栽を工夫する。
	8	外壁の色彩・素材を工夫する。
	9	低層階のしつらえを工夫する。

②その他のアイデア

概要	番号	主なご意見
根津にふさわしい意匠・素材について	1	「根津らしさ」とは何かがはっきりせず、共有することが難しい。例えば、根津にふさわしい意匠・素材（根津独自のもの）についてアドバイスしてもらえるとよい。根津らしい建物のコンペをやってもよい。

③次回以降の検討のアイデア

概要	番号	主なご意見
路地の景観シミュレーション	1	特徴が異なる路地（通り）を選んで景観のシミュレーションしてみたらどうか。 例）・外壁の色彩・素材の工夫 ・ブロック塀を生垣にする、プランター等の緑を配置する、格子や暖簾を付けるなど、建物低層階のちょっとした工夫

(3) 第3回 景観づくり検討会の概要

1) 検討テーマ 「根津らしいまち並みを守り、引き継ぎ、創っていくためのアイデア」

2) 内容

○資料説明

- ・前回のおさらい
- ・本日の検討テーマ

○グループ討議

- ・第1・2回の検討会での意見を踏まえた、景観づくりのアイデアの比較検討及び景観づくりの方向性の共有

3) グループ討議における主なご意見

地区内の特徴が異なる2つの路地（通り）を選び、フォトモンタージュによる景観のシミュレーションを行い、まち並みがどのように変化したのかを考えながら、根津らしさとは何か、何を大事にすれば根津らしいまち並みがつくれるのかについて議論しました。

①事例1（幅員が狭い路地の景観）

景観をより良くするためのアイデアへの意見

概要	番号	主なご意見
ハンギングバスケットを吊り下げる	1	プランターひとつひとつに住民の個性が垣間見えて良い。
	2	ハンギングバスケットは、置き方や花の種類など、つくり方に幅があり、発展性や楽しさがあって良い。
	3	費用が安く済むことや、比較的賛同を得やすそうな点が良い。
	4	ハンギングバスケットは根津らしくない。上から吊り下げるよりも、植木鉢を地面に置いている風景の方が根津らしいと思う。
生垣をつくる	5	素材感のある外壁材は、時間が経つにつれて表情を変え、まちに馴染んでいくので良い。
	6	道路際にある緑は、個人の住宅とまちをつなぐ役割がある。
	7	金属製など無機質なものは根津らしくない気がする。
	8	ボリュームが大きすぎる生垣は根津らしくない。根津らしい植栽の仕方や樹種（上に向かって生える樹種など。）があるのではないかと。 *生垣は高すぎても良くない。生活が垣間見える程度の現状のブロック塀程度の高さが良い。
板塀をつくる	9	費用が掛かりすぎて難しい。
	10	無機質な材料より木質の塀の方が、地域と住宅をつなぐ役割としてふさわしいと思う。
	11	板塀はブロック塀に比べて通風が良いので、暮らしやすい。

	12	板塀の色は、黒よりは茶色など、比較的明るい色が良い。 *昔の根津は、茶系（生木や柿渋塗）の板塀のまちであった。戦後、ブロック塀に変わっていった。
その他：根津らしさとは	13	道路の幅、無機質なブロック塀、路上駐輪なども含めて現状のまち並みが根津らしい。
	14	根津は、雑然とした雰囲気がありながら、周囲への気遣いや思いやりが、緑や塀などに現れているまちだと思う。
	15	全面緑の生垣よりも、緑が滲み出しているような植栽の方が根津らしい。

## ②事例2（幅員が広い通りの景観）

### 景観をより良くするためのアイデアへの意見

概要	番号	主なご意見
外構に緑を植える	1	自分たちでつくった緑が見えることが根津らしいと思う。
	2	緑の植え方に住民の個性が垣間見えて良い。
	3	植栽の仕方に幅があり、発展性があると思う。
	4	緑は植えすぎず、すっきりした雰囲気の方が根津らしいと思う。（現在ある緑ぐらいで十分である）
格子窓を付ける	5	格子は目隠しにもなって実用的であり、シンプルな方法で簡単に取り掛かれそう。
板塀を付ける	6	木の質感は家と地域とのつなぎ目にふさわしい素材だと思う。
	7	板塀のある家が隣接している場合には、それと調和した素材などを活用すると良いと思う。
	8	生活に必要なのに景観のためだけに板塀を付けるのは違和感がある。
外壁の色を変える	9	外壁の色を統一するのであれば、ある色調の幅の中から色を選ぶようにして統一感を出すと良い。
	10	低層階のみ色を変えるよりも、建物を全体的に統一感のある色彩に変える方がすっきりしていて良い。
その他：根津らしさとは	11	緑、格子窓があって、多少の色味があるまち並みが根津らしいのではないか。
	12	1階部分の外構に表情があるまち並み
	13	建物等を根津らしい色彩にする
	14	緑を少しずつ増やしていく

次回以降の検討のアイデア

概要	番号	主なご意見
次回以降の検討のアイデア	1	これから建物が更新されていく中で、「和風」じゃなくても根津に調和するものを検討したい。
	2	マンション等の比較的大規模な建物を建てる際の根津らしさについて検討したい。
	3	店舗と住宅では、景観づくりの方法が違うのではないか。今後、路地にあるような店舗の景観づくりも視野に入れると良いのではないか。

その他

概要	番号	主なご意見
その他	1	細街路に面した建物の建替え時に、安全性や防災性を確保しつつ、根津らしい景観を残す方法についても検討したい。
	2	電線、電柱が景観を乱している。
	3	昔はトロリーバスの電線が出ていて景観が乱れていたが、現在、不忍通りの一部で電線・電柱が地中化されてきれいになった。このように、昔の根津に戻ろうとするだけでなく、新しい根津になることも大切である。
	4	建替え時にどのようにセットバック（中心線から2m）するか、早急に対応を考えてほしい。



#### (4) 第4回 景観づくり検討会

1) 検討テーマ 「根津らしいまち並みを守り、引き継ぎ、創っていくためのアイデア パート2」

#### 2) 内容

##### ○資料説明

- ・景観づくり検討会の成果のイメージ
- ・本日の検討内容

##### ○グループ討議

- ・第3回検討会に引き続き、根津らしいまち並みを守り、引き継ぎ、創っていくためのアイデアの検討及び景観づくりの方向性の共有

#### 3) グループ討議における主なご意見

地区内の新しい建物（戸建住宅・大規模建築物）や店舗の写真を比較しながら、根津らしい景観のアイデアをいただきました。

#### ①根津らしい新しい建物の景観を考える

##### 戸建住宅

概要	番号	主なご意見
意匠	1	庇があるとアクセントになり、表情が出て、壁面が単調にならないので良い。
	2	木製の素材を使うと、現代的なデザインであっても違和感が少ない。
	3	昔を真似るのではなく、現代の材料を使って和風等まち並みに調和するものに仕立てることが大事。
	4	3階建ての少し高い建物でも、セットバックすることで、まち並みと調和する。
	5	意匠や素材を考える際には、周辺の建物との連続性を考えることが大事。
	6	建物の大小に関わらず、周辺のまち並みに調和しようという気遣いが感じられる建物からは、住み手の気持ちが伝わってきて、魅力を感じる。デザイン云々よりも、そのような配慮が見えることが良いかもしれない。
色彩	7	建物単体で色分けをする、しないではなく、周りの建物との色調の調和が重要。一定の範囲内で色彩を合わせるとまち並みの調和も図れる。
緑	8	軒先の緑はコミュニケーションのきっかけになり、隣近所との付き合いにつながる。
	9	景観とコミュニケーションが繋げられる仕組みがあるとよい。
	10	建物と道路の間の空間に緑を植えるのが理想。小さいスペースでも効果がある。根津ではプランターやハンギングバスケットを活用することが現実的。プランターや鉢植えであれば季節感が出るし、移動も簡単。
	11	お洒落で恰好良い雰囲気での植栽の仕方は、あまり根津には合わない。

	12	冬場は葉が落ちて寂しくなるので、キンカンなどの実がなる樹種などを飾ることもある。
その他	13	駐車スペースに格子扉を付けるだけで雰囲気良くなる。何らかの配慮をすることが大事。

#### 大規模建築物

概要	番号	主なご意見
意匠	1	大きい建物の雰囲気づくりは難しい。現実的には、1階部分に相当色濃く「根津らしさ」を意識したデザインにすることが、まち並みにとっては大事になる。
色彩	2	白系の建物でも、真っ白ではなく少し色味がついた方が良い。
	3	大規模建築物では、建物単体で色分けがあった方が良い。
緑	4	マンションであっても、居住者自ら手入れができる緑であるというのが理想的。地域の住民が一緒になって緑を育てられるとよい。

#### ②店舗の景観を考える

概要	番号	主なご意見
意匠	1	引き戸、格子、瓦、暖簾は、「根津らしさ」のツールになる。
	2	アクセントとして、瓦庇などのワンポイントがあると良い。
	3	店舗では、古い建物を建替えるのではなく、リフォームして使っているところでは、お店の人の創意工夫が見られ、根津らしさにつながっている。
色彩	4	派手な色でも、全面に使うのではなくポイントに使っていたり、古い建物を活用するなどまち並みを意識していることが感じられる建物であれば、あまり違和感を感じない。
緑	5	プランターでも良いので、出来る限り緑を活用してもらおうと良い。
看板	6	表通りと裏通りでは看板の質が異なる。裏通り・路地では雰囲気を壊さないよう、シンプルで落ち着いた看板が良い。
	7	地区の中では看板の色彩に気を付けてほしい。できればチェーン店の看板にも配慮してほしい。
店先の設え	8	暖簾などの小物が店舗の景観をつくっている。
その他	9	地区の住民ではなく、外から入ってきた人が古い建物を改装して雰囲気のあるお店を出しているのがここ数年の傾向。そうしたお店がまちを演出しており、まちの雰囲気を育ててくれている。そういうことを考えると、規制をするよりも古い建物を活用しながら雰囲気を壊さず、個性を出してもらおう方向が良い。
	10	昔から住んでいる人の意識の向上が必要。